



親子で「川の生きもの」をさがそう

二俣川水生生物調査



令和7年8月9日(土曜日)、二俣川にすんでいる生きものを調査しました。
この調査は、川にどのような生きものがすんでいるのかを調べることによって、水質階級(「きれいな水」か「きたない水」か)を判断するものです。
去年は、水質のよい川に生息する「ヒラタカゲロウ類」や「ヘビトンボ」が多く見つかり、『きれいな水』と判定されました。 さあ、今年はどんな生きものが採取できたでしょうか。

◎はじめに講師の野澤利治先生から捕獲の仕方などの説明を受けました。

続いて、いよいよ二俣川で捕獲です！



捕獲終了です！
判定はいかに!?



＜判定＞
晴天が続き、流れもおだやかな二俣川でしたが、暑さのせいもあってか、水質判定の基準となる「指標生物」が採取できず、今回は、『判定不能』という結果になりました。
ヒラテナガエビやカワムツ、カジカガエルなどのほか、こんなに大きいナマズが生息していることが確認できました。